



[2017年7月20日発行 会報第890号]

今週のプログラム

(2017年7月20日 第890回例会)

卓話：「個性を活かし、参加しよう」

近藤 眞道ガバナー補佐

次週のプログラム

(2017年7月27日 第891回例会)

卓話：「ガバナー補佐 振り返り」

水島 洋会員

[第889回例会 (2017年7月13日) の記録]

<会長の時間>

水本 徹会長

本日は五大奉仕委員長による活動方針ですが、各委員長におかれましては、急なスケジュール変更・時間の短縮にもかかわらず、ご対応いただき感謝申し上げます。

また来週は近藤ガバナー補佐の2回目のご訪問で例会前の17時30分より、理事・役員との懇談が予定されていますので、お忙しいところ恐縮ですが、ご出席の程宜しくお願ひします。

さて先週も述べさせていただきましたが、本年度は「増強・より魅力あるクラブ作り」を最重点課題として進めて参ります。各委員長の方針ともうまくマッチングさせながら会員全員で同じ目的に向かって活動し、達成感・感動を共有できれば必然的に退会防止・増強に繋がっていくと思ひます。その最たるものが20周年記念例会の成功です。毎月実行委員会が開催され着実に進行していつております。

一昨日村田会員より、ほぼ諦めていた「桂米團治師匠」が20周年記念例会での講演を引き受けて下さったとの吉報に20周年に大きな花が一つできたと大変うれしく感激致しました。まだまだ詰めて行かなくてはならないことが山積しており、皆様と一つずつ決めて参りたいと思ひますが、実行委員だけでなく会員全員に積極的に参画して頂き、全員で20周年例会に向けて盛り上げて行きましよう。

＜お客様＞

無し

＜出席報告＞

岸上 和典出席担当

会員数（内出席免除会員2名） 21名

本日の出席者数

（内免除会員1名・名誉会員2名） 17名

本日の出席率 75%

6月29日の修正出席率 95.24%

6月のホームクラブ出席率 83.33%

6月の平均出席率 90.48%

＜ロータリーソング＞

全会員

♪我は海の子♪

＜ピアノ演奏＞

近藤 美里さん

1. 浜辺の歌

2. 茶色の小瓶

3. 思い出のサンフランシスコ

4. ラスト・ワルツ

＜幹事報告＞

山本 友亮幹事

1. 地区より九州北部豪雨被害に対する義損金募集のお願いが参りました。
次週7月20日例会後の臨時理事会で募金額を諮り、地区会計に送金致します。
2. 米山関西学友会より冊子が届きました。米山総会での鄭さんのスピーチ内容や写真が掲載されていますので回覧致します。
3. 来週例会は近藤眞道ガバナー補佐がご来訪で卓話をされますので皆様ご出席をよろしくお願い致します。

『委員会活動方針』

＜クラブ奉仕委員会 木下吉宏委員長＞

会長の意向を踏まえて1年間クラブ奉仕委員会を運営して行きたいと思っています。
また、4つの委員会の委員長と連携を強める事で各委員会の活動成果を高めていきたいと思っています。
その中でも、会員増強を重要課題として取り組み、出来るだけ会員の負担を少なくしてクラブ運営を行い、また親睦活動に力を入れる事により会員同士の絆を深め、クラブへの出席を高め、退会防止につなげて楽しいクラブを作っていきたいと思っています。

＜青少年奉仕委員会 岸上 和典委員長＞

2018-2019年度 青少年交換 派遣学生募集要項

1. 応募期限 2017年7月1日～2017年8月31日

2. 応募資格 出発時16歳～18歳の高校生であること(ロータリアンの子弟も応募資格有り)

3. 交換期間 2018年8月出発 1年間 短期プログラムもあり

・お預かりした青少年に問題が生じたりする場合に{危機管理委員会}が設置されています。

①事故・病気 ②自然災害・テロ

③青少年が加害者の場合 国の法律一窃盗・傷害等

4D 禁止ルール：Drive 運転 Date 親密な男女交際 Drink 飲酒 Drug 喫煙・薬物

世界共通のルール破り 刺青

④虐待・ハラスメント

<職業奉仕委員会 渡邊 了允委員長>

職業奉仕の学びを高め、職業を通して会員相互の理解と高潔さと倫理基準を実践します。前年度の方針を継続しクラブ内外を問わず、いろいろな職場を見学できる機会があれば職場訪問を実践したいと思います。また職業奉仕について理解を深めるためにフォーラムには地区から講師を招き学んで参りたいと考えております。

私の仕事は神明奉仕です。神様に奉仕する神職という職業では通常、奉仕を特別に考えることはありません。「職業奉仕」とは国の経済が良くなるために欠かせない事です。職業において奉仕という考えは景気の低迷している今だからこそ考えなければならない事です。なぜなら戦後から目覚ましい成長と発展を成し遂げた日本は国を豊かにするために頑張る事と生活を良くするために頑張る事が合致していたからです。これらを実現するために必要なものが何であるかを具体的にイメージできたからだと感じます。夢と希望があつての労働において「無理を強いられて働いている」とは感じなかったのではないのでしょうか。「お蔭さまで」という感謝の心、日本人特有の見えない心を感じる性質も伴い、自分の名前が刻まれなくとも手を抜かず目の前の物事にプライドを持って取り組み、働くことで満たされる物質と精神の欲求が技術の向上、品質を向上させたとも言えます。

今日、奉仕という言葉に置き換えることは自己犠牲を払っているようにも思われますが、人の考え方が変われば世の中を良くするために必要な物の考え方として職業奉仕があると私は理解しています。

<社会奉仕委員会 野崎 元子委員長>

当クラブでは例年下記の奉仕活動を積極的に行ってきました。

1. 福島における除染・復興支援 (福島21ロータリークラブ)
2. 薬物乱用防止活動 (大阪府健康医療部薬務課)
3. 交通安全講習会 (吹田警察交通課)
4. 吹田5クラブによる社会奉仕の協調活動をする話し合い。

今年度も上記活動を継続して参りますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。

<国際奉仕委員会 山田 克子委員長>

今期は創立20周年も控え、山本加奈子様も記念例会にて講演して下さいます。水本会長は今期の活動方針の中で従来のラオスにおける保健衛生支援に加え、将来のリーダーになれる様な子供達に対して看護大学等へ進学ができる為のサポートも進めたいと考えられています。山本加奈子様のご意見も伺いながらラオス支援の継続と活動の内容を深めていきたいと思ひます。

そして今期は前米山奨学生のラカボサ・クレラさんを例会にお招きして母国フィジーについて卓話をお願いしたいと考えております。クレラさんは私の入会前に卒業されていましたが2006～2007年度に故光岡会員がカウンセラーを務められまして、10年の歳月が過ぎても千里メイト RC を忘れずにお中元を贈って下さることに個人的に感動しております。

クレラさんは現在フィジー共和国大使館で二等書記官として日本とフィジーの親交に日本中を駆け回っておられ、東京オリンピックで滞在を希望するフィジー選手と県知事との交渉にも動かされています。卓話の実現できるかどうかわかりませんが、今後も親交を深めていきたいと望んでいます。

